

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育センターあづみの		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日 ～ 2026年1月23日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年1月5日 ～ 2026年1月23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の特性に合わせた職員配置ができている。	特性により小集団より更に個別が適切な児童に対して対応できるよう取り組んでいる。	職員の急な欠勤等もあるため応援体制の再検討がしたい。
2	親子療育であるため保護者と連携がとりやすい。	保護者の現状に応じて単独でも通園可能な場合など個々の要望に応じている。	仕事を持つ保護者の通いにくさに応じ職員体制が臨機応変にとれるよう再検討していく。
3	グループごとのカンファレンスの時間を大切にしている。	全員が時間内で個々の育ち、次の願いが話し合われるような雰囲気づくりを心掛けている。	時間内に終われないことも多いため個々が心掛けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間の区切りが難しく、危険や目の行き届きにくさがある。	構造上の難しさがある。	危険と思われる場所の再確認や鍵、ドアの変更などできる範囲で対応していく。
2	外で遊べる遊具がない。(外に日陰がない)	土地の契約上の困難さがある。	夏はテントの設置や砂場での楽しみ方の工夫をしていく。
3	道路に面していて危険を感じる。	道路側に開閉可能なフェンスがあると良い。	基本的には車に乗るまでは保護者と手をつなぐなどの約束を再確認する。